

## 地域づくり委員会



10月6日(火)広島市において、約60名の委員出席のもと、地域づくり委員会を開催した。

当日は、国土交通省 中国地方整備局 道路部長 松浦利之氏によるご講演の後、当委員会の活動実施状況報告および政府等への要望事項を審議し、原案どおり承認された。

## 【講演要旨】

## 「道路行政に関する最近の話題」

国土交通省中国地方整備局  
道路部長 松浦 利之氏



### ■新型コロナウイルス感染症の拡大防止・社会経済機能維持への取り組み

都道府県を跨いだ移動などを極力避けるよう促すため、高速道路の休日割引の適用除外や道の駅等の駐車場の閉鎖・縮小などを実施。これらの結果、ゴールデンウィーク期間中の高速道路の交通量は、前年度比で約3割となった。

一方で、国民生活・経済の安定確保に不可欠な道路の維持管理、物流車両の休憩場所の確保などの業務は感染症防止対策を講じて継続した。

### ■令和3年度予算の概算要求

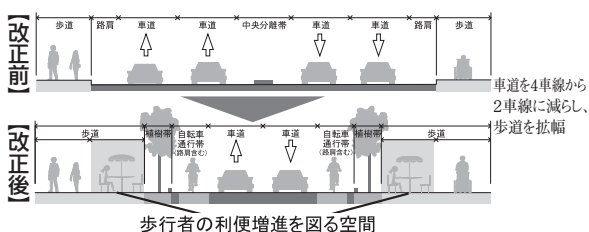
感染症拡大を防止し、事業と雇用を守り抜くため、令和2年度予算と同額の要求額に加え、感染症への対策など緊要な経費を別途要求。

骨太の方針2020では、『防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策』後も国土強靭化の取り組みの加速化・深化を図るべく、『国家百年の大計』として災害に屈しない国土づくりを進めることが明記された。

### ■道路法等の一部改正

#### 【歩行者中心の道路空間の構築】

地域の活力創造に資する道路となるよう、歩道をカフェなどで長期間利用できる制度を創設。



#### 【特殊車両への通行制度創設】

大型車による物流需要の増大等を踏まえ、予め登録を受けた特殊車両は即時の通行が可能となる制度を創設。

#### 【民間と連携した新たな交通結節点づくり】

交通混雑の緩和や物流の円滑化のため、バス・タクシー・トラック等の事業者専用の停留施設を道路付属物として位置付け、その施設運営には、コンセッション制度の活用を可能とした。

#### ■道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物は、5年毎の点検実施が義務化されており、点検により措置が必要と診断されたものを順次修繕等しているが地方公共団体では、措置が遅れている。ドローン等の点検支援技術も活用し、費用削減・作業環境等の改善を図るとともに、補修工事に活用できる新材料や新工法の技術開発を推進。

#### ■中国地方での取り組み

##### 【山陰道整備による企業活動の支援】



平成20年以降に島根県へ進出等の県外企業142社のうち、約9割が高速道路沿線に立地。令和元年12月には、令和8年度までの山陰道等の開通見通しを公表し、企業立地促進施策などを支援。

##### 【ナショナルサイクルルート指定】

日本を代表し世界に誇れるサイクリングルートとして、「しまなみ海道サイクリングロード」をはじめ3ルートを第1次ナショナルサイクルルートに指定。

(担当：齊藤)